



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



自分の中の「鬼」を追い出そう ～「節分」～

昨日、2月3日は「節分」でした。ご家庭での「節分」いかがでしたでしょうか。学校では、新型コロナウイルス感染症のこともあり、多人数で大きな声を出して鬼を追い払ったり、福を呼び寄せたりはできませんでした。また、誤飲による事故なども報告されており、「豆まき」等は控えました。日本の伝統的な年中行事は年々縮小傾向にあると言われます。年中行事の中にある「想い」も含めて、大事にしていきたいと思っはいるのですが・・・。

豆まきはできませんでした。学校の中にも、節分に関する掲示がずいぶん見られます。学級内はもちろんのこと、児童会（集会委員会）でも工夫した掲示が見られます。

内容は「自分の中の鬼を追い出そう」というのが主になっています。「なまけ鬼」「忘れ物鬼」「ねぼろ鬼」・・・など自分を見つめなおして、こんなところを直したいというものを「鬼」らたとえて表現しています。どうぞ、ご家庭でも子どもたちがどんな鬼を追い出したいのか聞いてあげてください。

「やさしさの木」スタート ～学校内のやさしさ／がんばりに気づき みんなで賞賛～

本校は JRC（青少年赤十字）の研究指定校になっています。JRC には基本原則があり、その筆頭になっているのが「人道」です。人道とは、あらゆる状況下において、人間の命と健康、尊厳を守ることを第一に考え、苦痛の予防と軽減に努めることを指しています。そして、この人道的活動を阻害する4つの人間の弱点として「利己心」「無関心」「想像力の欠如」「認識不足」があげられています。これらは「人道の敵」と呼ばれています。

子どもたちには、具体的な活動を通して、「人道」について感じてほしいと考え、「やさしさの木」の活動を全校的にスタートすることにしました。身近な生活の中で、友達のやさしさやがんばりに気づき、みんなで賞賛していくという活動を通して、「人道の敵」を追い払っていきたくと考えています。

どうぞご家庭においても、子どもたちのやさしさ、がんばりに気づき、賞賛の場をとっていただきたいと思います。ただ、毎日子どもと接していると「やさしさ」や「がんばり」はなかなか見えにくいものになってしまうこともあります。その時はどうぞ、子どもが普通に行っている活動をそのまま「●●しているんだね（例 「宿題しているんだね」「朝早く起きたんだね」等）」と返してあげてください。認めてあげてください。親が自分を見てくれているという安心感に繋がってきます。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-c@fcs.ed.jp まで）～

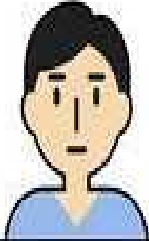





..... 切り取り線

なんとか、学校を起因とする新型コロナウイルス感染症の拡大は防ぎたいと考えています。

子どもの「不織布マスク」の正しい着用にご協力ください

市販マスクの性能

(実測値)

マスクの種類	マスクなし	ウレタンマスク	布マスク	不織布マスク	
				ルーズ	フィット
飛沫の捕集率					
吹き出し	0%	52%	72%	76%	82%
吸い込み	0%	18%	30%	55%	75%
効果	小				大

※豊橋技術科学大、理化学研究所などの実験結果